



平山学長 新年あいさつ 2面

若者と新潟の未来を創る大学へ

韓国 光云大から初の留学生 7面

学食「テーブル・フォー・ツー」活動 5面

日中友好 日本青年訪中団ツアー参加 8面

平成30年度一般入試日程の概要とポイント 7面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nouis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

(2・3面)

湧源・編集後記に代えて
瀬戸准教授 ラオスから友好勲章
オープンカレッジ in こくじょう

nuis projectに学生ボランティア賞

(4・5面)

男子4×100mリレー

北陸選手権で初優勝

フィットネス研究部

国体、ロシア大会出場

代官献上米行列に参加

教員の活動

(6・7面)

福祉・介護・健康フェア出展

企業懇談会に

過去最高311社

e-ネットキャラバンと

光通信を学ぶ教室実施

平成30年度推薦入試

(8面)

学生がNICOに同行調査

伊勢ヶ濱部屋が来学

経営情報学部スタート!

新年
あいさつ



学長
平山 征夫

若者と新潟の未来を創る

学生諸君、教職員、父母の皆さま
明けましておめでとうございます。
気持ちも新たに年明けを迎えた
ことと存ります。

昨年は本
学にとりま
して大きな
意義のある
年でした。

創立20周年を期に悲願の2学部への
移行を達成、定着を図るとともに、
さらなる発展を目指して経営情報学
部への学部名変更と経営学科の新設
を目指して取り組んできましたが、
実現することができました。

今回の改正は「国際化と情報化と
いう時代要請に的確に対応できる人
材育成」という建学の目的を達成し、
より魅力のある大学になるためのも
のです。経営学科の新設は、これま
での「情報システムを使いこなせる

か、新たな大学の魅力をどう高める
かが重要なテーマとなります。併
せて「地域になくてはならない大学」
「一番学生の面倒見の良い大学」を
目指した具体的な施策についても詰め
てゆきますので、皆さんもアイデア
を創る大学」を目指して何をする
かが重要なテーマとなります。併
せて「地域になくてはならない大学」
「一番学生の面倒見の良い大学」を
目指した具体的な施策についても詰め
てゆきますので、皆さんもアイデア

り出し、卒業生は6,000人を超
えることになります。そして4月に
は25回目の新入生をみずき野に迎え
ます。本学が地域の「知」の中核的
存在として、一層の充実した活動を
することが期待されています。それ
には上記戦

略プランを
具体化する
ことが重要
になります。
す。皆さんからも、そのための具体的
な実践活動に協力いただきたいと思
います。

私は以前から地域の私大は道路、
病院などと同様、地域に必要な「共
通社会資本」だと主張しています。
朝ドラのタイトルは「笑ろてんか」。標準語で言え
ば「笑ってください」。笑いの街で生まれ育った私だ
が、母方の祖母が「この子はほんまに笑わん子や」と言
うほど生まれたときからあまり笑わなかつたらしい。
そんな私の委員長職もあと約3か月。大学入試センタ
ー試験をはじめまだまだ大仕事が残っているが、大役
を果たしたころ私の四十肩は五十肩に変わる。この世
に生まれて半世紀を迎える3月末に、果たして私は笑
つているだろうか。

ビジネスパーソンの育成」をさらに
発展させ「情報システムをマスター
したうえ、経営学全般にも精通して
いるより幅のあるビジネスパーソン
の育成」を目指すものです。この試
みは本学の将来展望に関連した重要
な挑戦です。

併せて2016年に定めた本学の
「中長期計画」の具体的な実施内容と
方法を検討してきましたが、本年は
それをさらに詰め、できるものから
実施に移してゆく年になります。計
画の柱であります「若者と新潟の未
来を創る大学」を目指して何をする
かが重要なテーマとなります。併
せて「地域になくてはならない大学」
「一番学生の面倒見の良い大学」を
目指した具体的な施策についても詰め
てゆきますので、皆さんもアイデア

価主義の一段の進展、高大接続の入
試選抜への影響、新たな高等教育機
関としての「専門職大学」の設立（平
成31年以降）など、どれを見ても影
響必至の事項が目白押しです。特に
専門職大学は専門学校の多い本県で
は、その影響が懸念されます。それ
だけに本学は建学の理念に基づき、
より魅力と特徴のある大学創りに励
むことが求められます。そのためには
も「中長期計画」を本学の戦略プラ
ンとして早期に本格スタートさせる
ことが何より肝心です。

入試・広報委員長
安藤 潤

編集後記に代えて

新年あけましておめでとうございます。

現在NHKの朝ドラの主人公は吉本興業を創り上げ
た吉本せいをモチーフとしている。実は私の実家は吉
本興業から歩いて3分。幼稚園は旧なんば花月のすぐ
そばにあり、帰りにはなんば花月の隣にあったお化け
屋敷の受付の女性に深い恋心を抱き、しばしあいづけ
の花月（なんばグランド花月）は地下がゲーム
センター、上はボーリング場、最上階はゴルフの打ち
放し場だった。ブームのころは毎週のよう開催さ
れるコンペに参加する父につき合われ、中1のとき
は彼女とデートなんてこともした。

なんば花月では毎週のようにお笑い番組の公開録画
があり、そのときだけは入場料はただになる。そのこ
ろマエセツを担当していたのが明石家さんまさんや島
田紳助・松本竜介さん。そういうえば一度だけ舞台でさ
んざさんと話をした記憶がある。花月の2軒隣に小さ
なスーパーA&Pがあり、地下へ続く階段の壁には90
年代に閉店を迎えるまで20代の明石家さんまさんと小
泉今日子さんの色あせたポスターが貼ってあつた。

実家の周りは今もにぎやかだが、12月30日ともな
れば近所の店は閉まり、玄関には謹賀新年の貼り紙とし
め縄が定番で、基本的に年末年始は静かだった。今は法
律も改正されて24時間営業する飲食店は当たり前。な
んとぎやかになつたことか。そんな正月元旦に顔を
合わせるのは祖母が亡くなつた大学1年生以来ずっと
両親と私の3人だけだ。顔ぶれが変わらないのは家族
が健康であることの裏返しではあるが、まさか四半世
紀もメンバーが増えないとは誰が想像しただろう。

学びくりなどについては、早期に方
向性を打ち出してゆきたいと思つて
います。

しかし大学を取り巻く環境は、い
よいよ「2018年問題」を迎える
ほか、教育を巡る政策が大学改革評
議会に取り組む所存ですので、協力の
ほどよろしくお願ひいたします。

ラオスから友好勲章

20年、学術交流に協力

法教育研究センター設立も貢献



友好勲章を手にする瀬戸裕之准教授と
ラオス国立大学ソムシー学長(右)

本学の国際学科、瀬戸裕之准教授にラオス人民民主共和国から長年の学術貢献に対して友好勲章が授与されました。

瀬戸先生への勲章授与は、1997年からラオスと日本の学術交流に協力したことと共に、2013年から2016年までラオス国立大学で勤務して、ラオス・日本法教育研究センターの設立と運営に大きく貢献したことが評価され今回の受章となりました。

伝達式は8月11日にラオス国立大学内で行われ、同国首相名の勲章がラオス国立大学のソムシー学長から手渡されました。伝達式の様子は、現地のビエンチャン・タイムズ紙に掲載されました。



「オープンカレッジ in こくじょう」

した。

本学は、公開講座「文化教養」の本井晴信講師が中心市街地・古町の歴史的地名の由来を教える「新潟古町 地名探求」古町から始める地名学」講座を開講。「英会話」講座の

お笑い、教養で元気を

新潟NAMARAと異色コラボ

新潟中央キャンパスで9月23日、「オープンカレッジ in こくじょう」を開催しました。誕生20周年を迎えた新潟のお笑い集団NAMARAと本学の異色のコラボレーションで地域を元気にしようと企画しました。

ステイブン・クラタバツク講師は、芸人あやべしゅうとコンビを組み「これだけ言えれば生きていける英会話」で掛け合いトークを披露。ハンバーガーショップ店員役でコミカルな劇を演じて笑わせました。

また、2階

コワーキング・スペースでは、金子ボボの「カネッコジャンボリ

ー」や親子で楽しめる「バルーンアート」「けん玉教室」を開催。家族連れで訪れた卒業生も多く、「けん玉教室」は子供より父親がヒートアップするなど楽しんでいました。

(新潟中央キャンパス 企画室 片桐徹)



南三陸町でカキの殻磨きを手伝うメンバー

災害支援 nuis project

ソロプロチミスト日本財団 学生ボランティア賞に輝く

我々学生災害ボランティア団体、nuis projectは11月17日、ソロプロチミスト日本財団から「学生ボランティア賞」を授与されました。東日本大震災を契機に、学生だからこそできる復興支援があるに違いないと5年前に結成し、被災地の福島県や宮城県で毎年2、3回、現地のボランティアセンターを通じて、リンク農家の草刈りなど農作業の手伝いや漁港ではカキの殻磨きなどを、農業や漁業の支援を行ってきました。

私たちには、ほかの学生たちにも被災地の状況を知つてもらい、ボランティア活動に関心をもつてもらうことが継続的な復興支援につながっていくと考えています。

受賞を励みに、これからも復興支援活動を行っていきたいと思います。

(nis project 前代表 国際文化学科4年 大川竜矢)



バーベル挙げに挑む小池優太さん

えひめ国体、ロシア大会

継続は力! 95kg挙げる

パワーリフティングも奮闘
細い腕を太くしたいと2年半前にフィットネス研究部に入り、先輩方と藤瀬武彦教授の指導を受けてパワーリフティングを続けています。このスポーツは、スクワットとベンチプレス、デッドリフトの3種目で挙げます。

パワーリフティングで初めて、第72回愛顔つなぐえひめ国体公開競技パワーリフティング大会(9月9、10日)とロシア・ハバロフスク市で開催された極東スポーツフェスティバル「新世代2017」(9月20~24日)に出場しました。

細い腕を太くしたいと2年半前にフィットネス研究部に入り、先輩方と藤瀬武彦教授の指導を受けてパワーリフティングを続けています。このスポーツは、スクワットとベンチプレス、デッドリフトの3種目で挙げます。

(情報システム学科3年 小池優太)

パワーリフティングも奮闘

パワーリフティングで初めて、数字で成長できるのが醍醐味です。

国体では全国大会の舞台に初めて立つ興奮と緊張から力を発揮できるか大会の直前まで不安でしたが、競技会場では「最高のパフォーマンスをしよう」という気持ちで臨み、スクワット

で第一試技が成功したら緊張が解けて気持ちがのり、8試技連続で成功。95kgを挙げて今まで一番良いパフォーマンスができました。今年は国体のトップ10を目指して練習を続けていきます。

陸上競技部・男子400mリレー

北陸選手権で初優勝



初優勝をして、賞状を掲げて喜ぶリレーメンバー

陸上競技部は、富山市の富山県総合運動公園陸上競技場で開かれた第61回北陸陸上競技選手権大会(8月26、27日)に出場し、男子4×100mリレーで初優勝を果たしました。

1、2年生だけのリレーメンバ

ンがアンカーに渡るまでは2位でしたが、最後に逆転して走りぬき、41秒71の記録で初優勝することができます。

この素晴らしい結果は自分たちの大きな自信となりました。今年の大会でも連覇ができるよう、これから練習もがんばっていきます。

(情報システム学科2年 斎藤大介)

メンバー
1、2年生

予選はシーザンベスト

が、予選で決勝はバトベストをして1位。

全力疾走、アンカー逆転

II "Culture and Identity" (座長) "Thinking across Boundaries: The Fluidity of Asia, Africa and Beyond" (SOAS University of London)

・(2017年10月7日) 「中国貴州省におけるミャオ族女性のライコースの変化:母娘関係に着いて」第4回アジア・中国学術交流会(新潟大学)

・(2017年10月8日) 「ミャオ族の民族衣装:中国農村にいきづく手仕事のかたち」国際理解セミナー アジアを知る! (新潟県国際交流協会) (朱鷺メッセ)

藤瀬 武彦(情報システム学科教授)

・(2017年9月9日) 藤瀬 武彦・他「青年女性における理想体型の数値及び自己体型との関連について」日本体育学会第68回大会(静岡大学静岡キャンパス)

藤田 美幸(情報システム学科准教授)

・(2017年9月5日) 「ワインタースポーツイベントの最適マネジメント」全日本ワインタースポーツ専門学校(全日本ワインタースポーツ専門学校)

佐藤 泰子(国際文化学科英語講師)

・(2017年10月1日より~2019年9月30日) 新潟市水道事業経営審議会委員内田 亨(情報システム学科教授)

・(2017年9月30日) 文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 NIIGATA COC+ 国際交流WG 第1回新潟国際化デザインコンテストにて内田研究室卒業生 油石涼 佐久間優祐 古田宥希 保刈陽平 ポール・ブリオ(フランス・リヨン経営大学院修生)が「サカルチャーを通した新潟の魅力発信 ~新たな古町~」を発表(クロスバル新潟)

上西園 武良(情報システム学科教授)

・(2017年10月26日~27日) 燕三条ものづくりメッセでの展示(燕三条地場産業振興センター)

小林 満男(情報システム学科教授)

・(2017年11月14日) 西川地域子ども環境サミット・総括コメンテータ(西川多目的ホール)

・(2017年11月21日) 新潟市西川図書館協議会・会長(西川学習館)

小林 満男(情報システム学科教授)石川 洋(同准教授)河原 和好(同講師)中田 豊久(同講師)

・(2017年10月28日) JABEE修了生・卒業生交流会(新潟地区)(新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)

藤田 美幸(情報システム学科准教授)

・(2017年10月5日) 新潟コンベンション協会主催; 第5回地域内連携もてなし推進事業検討ワーキング(新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)

・(2017年11月9日) 新潟市西区自治協議会・第3部会(新潟市西区役所)

・(2017年11月10日) 中小企業基盤整備機構主催; 中心市街地活性化協議会関東ブロック交流会(新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)

3) 競争的資金獲得研究

伊村 知子(情報システム学科准教授)

・(2017年7月より継続~2019年3月) 平成30年度科学研究費補助金挑戦的研究(萌芽)「子どもは拡張現実(AR)技術による『本物らしさ』をどのように認識しているのか?」

4) 委員・社会的活動・記事・その他

伊村 知子(情報システム学科准教授)

・(2017年8月24日) 京大と新潟国際情報大など、チンパンジーも複数の物体の大きさの「平均」を知覚することを見出(https://nikkei.com/article/DGXRSP454927_U7A820C100000/) 日本経済新聞

宇田 隆幸(情報システム学科教授)

・(2016年12月26日より継続~魚沼市国土利用計画の策定まで) 魚沼市国土利用計画審議会委員



学食内の食券販売機にある「TFTランチ・メニュー」の選択スイッチ

高カロリー食を毎日続けたりジャンクフードの食べ過ぎをやめ、健康を考慮した食事に切りかえしむ途上国の子供た

た。 途上国の子供たちは、貧困や飢餓に苦しんでいます。そこで、6月から始めたボランティア活動。売店に寄付用の募金箱も置いて、10月末時点ではヘルシー食の選択と募金を合わせて23,631円（1181.55食分）の寄付が集まりました。

本学（本校）に近い西蒲区の西川地区曾根で10月8日に開かれた秋祭り「越後にしかわ時代激まつり」の「代官献上米行列」に初めて加わり、江戸時代の武家の棒（かみしも）姿で練り歩きました。江戸時代、長岡藩の穀倉地帯の要とした。

情報システム学科 3年 穂苅 周平

練り歩く



教員の活動（本人申告による）

1) 研究論文・図書

伊村 知子（情報システム学科・准教授）

- (2017年) "Perception of the average size of multiple objects in chimpanzees (Pan troglodytes)", Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences, 284 (2017564)
- (2017年) 「チンパンジーは、平均の大きさがわかるか?」『科学』岩波書店 87巻 11号 (1002-1003頁)
- (2017年) 白井 伸・他「市原 茂・阿久津 洋巳・石口 彰編 視覚実験研究ガイドブック」『第6章 視覚研究とその応用 6.2 視覚発達研究の技法』朝倉書店

内田 亨（情報システム学科・教授）

- (2017年) Remy Magnier-Watanabe, "Organizational virtuousness and job performance in Japan: does happiness matter?", International Journal of Organizational Analysis Vol.25 Issue 4 (628-646)

白井 健二（情報システム学科・教授）

- (October 2017) "Production process retention using a flow analysis in the manufacturing business", International Journal of Innovative Computing, Information and Control Vol.13 No.5(1491-1507)

藤田 美幸（情報システム学科・准教授）

- (2017年) 「デジタルとアナログの融合による地域活性化プラットフォームモデルの開発－『ふるまちクエスト』を事例として－（査読有り）」『モバイル学会誌』vol.7 no.1/2 (31-36頁)

2) 学会・研究会・講演等

伊村 知子（情報システム学科・准教授）

- (2017年9月9日) 「動物と人間のつながり：動物から学ぶ」にいがた市民大学講座「人間と動物のつながり－動物が私たちに教えてくれること－」（クロスバルにいがた）

発展途上国の飢餓と先進国の肥満・生活習慣病を同時に解消しようというTFT（テーブル・フォー・ツー）活動。

飢餓と飽食の格差なくしたい

学食「テーブル・フォー・ツー」活動

途上国の子供に給食代を贈る

の国際的な貢献運動に賛同した3、4年生が同好会をつくりました。学食内でTFTの特別ヘルシーメニューを選択すると、1食につき20円が貧困や飢餓などに苦しむ途上国の子供たちの給食1人分として寄付される仕組みです。

同好会の顧問、国際文化学科・山田裕史講師のアドバイスで6月から始めたこのボランティア活動。売店に寄付用の募金箱も置いて、10月末時点ではヘルシー食の選択と募金を合わせて23,631円（1181.55食分）の寄付が集まりました。

ちを支援しようと、同好会メンバーは活動を続けています。

て曾根に代官所が置かれた歴史から、時代衣装で中心街を練り歩くのが献上米行列です。

情報システム学科の小林満男教授の薦めで、その歴史的背景を考え、先人の苦労と努力を体感して見聞を広げようとした。

（2017年9月20日～22日）「チンパンジーにおけるアンサンブル知覚 比較認知科学の視点から」日本心理学会第81回大会（福岡県久留米市）
（2017年9月22日）「買い物ゲームにおける子どもの価値判断と意思決定に関する行動経済学的研究」第24回中山財团成果発表会（東京都大崎プラットコアホール）
（2017年10月14日）「チンパンジーは全般的『平均』を知覚するのか？」第1回犬山鯨類鰐脚類行動シンポジウム（Inuyama CetaPia 1）（京都大学鯨長類研究所）

内田 亨（情報システム学科・教授）

- (2017年9月9日～10日) Remy Magnier-Watanabe, "Organizational Virtuousness and Subjective Well-Being: Differences between France and Japan" 国際戦略経営研究会第10回全国大会（明治大学）
- (2017年11月10日) 朴 珍伶「社員にとって何が幸せにつながるか? : 新潟県内の企業に勤務する社員を対象に「イノベーション創出・ワークデザイン」協会第4回研究会（早稲田大学理工学部）
- (2017年11月18日) 朴 珍伶「向社会的行動（Prosocial Behavior）と良い人間関係の構築—新潟県の職場内における幸福の増大—」日本経営品質学会2017年度秋季研究発表大会（経営研究所）

上西園 武良（情報システム学科・教授）

- (2017年10月17日～18日) 中川結果「スリッパ着用時の歩行の特徴に関する研究」日本人間工学会 東海支部2017研究大会（中京大学）

佐藤 泰子（国際文化学科・英語講師）

- (2017年9月15日～18日) "Poster session The Case Study and Effectiveness of MOOCs in EFL Required Course A New Challenge for Freshmen at NUIS Focus on a Self-Directed Learning 2" 日本教育工学会 第33回全国大会（鳥取大学松江キャンパス）
- (2017年10月14日～15日) 「EFL授業におけるMOOCsの活用事例とその有効性：大学1年生への取り組み」日本教育メディア学会 第24回年次大会（茨城大学水戸キャンパス）

佐藤 若菜（国際文化学科・講師）

- (2017年9月18日～19日) "Sympathetic Relationships between Miao Mothers and Daughters as Mediated by Ethnic Costumes: Case Studies from Guizhou Province, China (口頭発表)、Panel



河原研究室の「VRによる視覚システムの展示」

「視覚障がい」を体感

— 新潟会場で河原研究室 —

近藤研究室は「VRによる視覚シミュレーションの展示」。VR（バーチャルリアリティ）と、視覚障がいがある場合の見え方のシミュレーションの展示」。VRによる視覚シミュレーションを実演して大人も子供も大変興味を持つてくれました。

出展して一般市民や福祉、介護に携わる人の感想やアドバイスが得られ、研究を続ける上で有意義な時間となりました。

新潟国際情報大学と信越情報通信懇談会、総務省信越総合通信局は、スマートフォンなどプロードバンドのより安全な使用の啓蒙活動として、e-ネットキャラバンと光通信を学ぶ教室を担当し、高田高校では1年生の理数科クラス40人、新潟第一高校



LED光送信に歓声！

e-ネットキャラバンと光通信を学ぶ教室

では1年生の希望者22人が製作と実験をしました。

両校とも研究室の学生がアシスタントとなり、半田付けをせずに電子回路が組めるブレッドボードでLEDによる光送信機とフォトトランジスタによる光受信機を作りました。

スマートフォンの音楽をLEDの赤色光や赤外光信号に変えて受信機に伝達し、スピーカーから音楽が流れると、生徒たちから歓声があがりました。

(情報システム学科 教授 近藤 進)

脳の3次元画像を紹介

— 長岡会場で近山研究室 —

近山研究室は「ホロレンズによる3次元データの可視化体験」を展示。マイクロソフト社のホロレンズ2台を設置して、ヒト脳の3

次元MRI（磁気共鳴画像）データの可視化と、ヒト培養細胞の共焦点レーザー顕微鏡3次元データの可視化を行いました。可視化ア

報社・新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会の共催が開催され、11月5日の長岡会場で情報システム学科の近山英輔研究室が、11月19日の新潟会場は河原和好研究室がベースを出展。多くの企業と団体が参加してにぎわいました。

実演にぎわう

「福祉・介護・健康フェア2017」

河原研究室は「VRによる視覚シミュレーションの展示」。VR

人事担当者と教職員が名刺交換をして交流しました



企業懇談会

過去最高 311社

採用計画など情報交換

平成29年度「企業懇談会」が11月15日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開かれ、企業数は過去最高の311社に増え、各社の就職担当、人事担当ら478人と本学から理事長と学長、教職員が出席して採用計画など情報交換をしました。

冒頭で平山征夫学長は「人生を乗り切る基礎の勉学、経験を積み、引き出しを増やすよう学生に話しています。社会人として彼らが成長でき

る講演会では、偏差値30だった生徒を有名私大に現役合格させた学習塾の先生、坪田信貴氏が「部下をやる気にさせる信頼関係の作り方」と題して「相手とまじめに向き合い、理解し合える関係をつくり、明確な目標でモチベーションを上げることが大切」と話しました。

懇親会は、星野理事長が「本学の卒業生数も約6,000人となり県内外で活躍しています」と大学教育で人材育成が着実に伸びている実績を説明。キャリア支援委員長の内田亨教授は「学生を巻き込んだ共同研究ができれば、企業と学生双方にメリットも生まれる」と話し、懇談会を通じた各企業と産官学連携、共同研究の機会も探つてほしいと呼びかけました。(キャリア支援課長 西脇茂雄)

韓国光云大から初の留学生

昨春から1年間、韓国の光云大学校より本学では初めての交換留学生を迎えていました。帰国を3月にひかえた2人に、新潟での勉学やキャンパスライフなど留学中の感想を寄せてもらいました。

クォン ミンジ
權 玫池さん

新たな分野を学んだ

報大学に留学しました。最初は日本語がほとんどわからず生活に慣れるのが大変でしたが、春はお花見をしたり夏は花火大会に行ったり、休日は友人たちと一緒に食事や映画を楽しんだりして、た

紅翔祭のサークル活動で楽しくポーズ

キム ヨンジュ
金 妍珠さん

喜び感じ、日本語上達

過ごすことができるのか、家族や友人がとても心配していたからです。しかし私はもっと広い世界へ踏み出していきたくて、新潟国際情報大学への留学を決めました。あんなに心配していました。

連れていつてくれました。いろいろな交流会もあり、日本人の友人もたくさんで、喜びを感じながら私の日本語も随分上手になつたのを感じました。留学生を優しく迎えてくださった新潟国際情報大学をこれからも絶対忘れません。

新潟国際情報大学はとても大切な思い出を作つてくれた場所です。私は日本での留学を決めた前にかなり迷つて、なかなか決めることができませんでした。長い1年間を日本で順調に切な思い出を作つてくれた場所です。私は日本での留学を決めました。新潟は美しい自然と、とてもきれいな空気があります。本当によかったです。また、大学に紹介していただいたマンションはきれいで、交通の便もよく、大学は留学生のために日本語や日本本事情などの講座を設けてくれました。職員の方は季節が変わると、たびに新潟各地の名所に私を

私は、光云大
学校の東北アジ
ア国際通商学部
で日韓貿易を勉
強しています。
韓国で大学生活
に慣れたころ
「何か新しいこ
とに挑戦してみ
よう」と思い立
ち、新潟国際情
字しました。

留学中の全ての経験が私
に慣れること
につながり、本当に大切な思
い出ができました。私の韓國
での専攻は貿易学ですが、新
潟国際情報大学では、法、経
済、政治、文化、英語など、

本来の専攻とは違う新しい分野を学べました。おかげで、多くの人たちと知り合うことができ、グローバルな社会を理解するために柔軟な考え方を持つことができるようになりました。

暖かい春、清涼な夏、孤独な秋を過ぎて冬になり、また韓国に戻ります。短い留学生生活でしたが、新潟での思い出は永遠に忘れません。

国際文化学科の佐々木寛教授が「市民政治の育てかた—新潟が吹かせたデモクラシーの風」と題した本『写真』を出版しました。2015年に立ち上げた「市民連合@新潟」の代表として自らが関わった2016年の参

すく解説しています。

さらに、デンマークでの事例に触れながら、新潟で再生可能エネルギーに基づく「地方分散ネットワーク型社会」を形成する可能性を展望しています。

昨年11月、大月書店から出版されました。

「参加民主主義」 育てよう

化学科
佐々木 寛教授が出版



平成30年度入試が11月19日の推薦入試を皮切りにスタートしました。今年4月に経営情報学部を新設し2学部3学科に再編される初

平成30年度推薦入試 受験者数は 昨年を上回る

めての入学試験となりました
が、昨年度と比べて出願が多く、人気度の上昇がうかがえました。

平成30年度 一般入試日程

募集学部

学部 国際文化学科

経営情報学部

経営学科・情報システム学科

入試区分	出願期間 ※期間内必着	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格発表日	入学手続期間
前 期	平成30年 1月 5日(金) ~ 1月22日(月)	平成30年 2月 2日(金)	新潟 上越 長岡 新発田	国語 数学 外国語 2科目以上選択	平成30年 2月 8日(木)	平成30年 2月 8日(木) ~ 2月15日(木)
大学入試 センター 試験利用	平成30年 1月22日(月) ~ 2月13日(火)	平成30年1月 13日(土), 14日(日) の 大学入試センター試験を 受験していること		各学部の 利用教科・科目の 中から 2科目以上選択	平成30年 2月22日(木)	平成30年 2月22日(木) ~ 3月 2日(金)
後 期	平成30年 2月23日(金) ~ 3月 8日(木)	平成30年 3月13日(火)	新潟	国語 数学 外国語 2科目以上選択	平成30年 3月16日(金)	平成30年 3月16日(金) ~ 3月23日(金)

入試のポイント

一般入試(前期・後期)で
第3志願制を導入!!

第1志望の学部・学科が合格にならなかった場合は第3志望までの学部・学科で合否判定を行います。

一般入試(前期)で
学費給付奨学生を
採用!!

一般入試(前期)の試験結果から、成績上位者に、年間授業料の半額を給付します。奨学金試験を受ける必要も、事前に申請する必要もありません。

※進級年度ごとに審査あり。		給付額		給付対象	
年間授業料の半額	経営情報学部	経営学科	上位3名		
		情報システム学科	上位2名		
	国際学部	国際文化学科	上位3名		

詳細は「平成30年度学生募集要項」または本学ウェブサイト(<http://www.nujs.ac.jp/>)でご確認ください。

